

第 編 施策体系

【基本理念】

県民総ぐるみの子育て支援

【めざすもの】

子どもが夢と希望を持って健やかに成長できる環境の整備

安心して子どもを生み育てることのできる社会の実現

【基本的な考え方】

一人ひとりの子どもに応じた支援を行い、子どもの生きる力をはぐくむ。

子どもが失敗してもやり直せる寛容性のある社会をつくる。

子どもの健やかな育ちを支えるため、セーフティーネットを構築し、教育の機会や生活を守る。

保護者の子育て力を高め、子育て家庭に切れ目のない支援を行う。

地域の子どもをしっかりと育てる地域力を高める。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）により、家庭生活や余暇などを豊かにする。そして、家族のふれあいや安定した生活に希望を持ち、結婚・出産を望む人が、決断できる社会をつくる。

第 編 基本施策及び施策の方向

1 妊娠・出産の支援

妊娠・出産期における支援

不妊治療対策の充実

近年、晩婚化や晩産化を背景として、妊娠・出産・育児にかかる医療体制の重要性は益々高まっており、また、地域のつながりの希薄化や核家族化の進行により、妊産婦が周囲の人に相談しづらく、孤立感や負担感を抱える状況が増えています。

誰もが安心して安全に出産するための周産期の医療体制及び相談・支援体制を整備し、不妊治療対策の充実を図ります。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
妊産婦死亡数	0人 (H29)	0人 (毎年)
不妊治療費助成組数		

2 子どもや子育て家庭への支援

子どもの成長に応じた支援

子どもの健やかな育ちへの支援

家庭・地域・学校等の連携による子どもの育成

すべての子どもや子育て家庭に対して、子どもの成長に応じて、地域や学校等が支えるしくみを確立し、子どもたちが、自分の将来に見通しをもち、自立した社会人となるよう育てる社会をつくります。

また、医療や保健、食育など、子どもの健やかな育ちを支援するとともに、家庭や地域の養(教)育力を向上させ、きめ細かな支援を行うための施策や、子育て家庭に対する経済的な支援を実施します。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
保育所等待機児童数	70人 (R1)	0人 (毎年)
保育施設等における死亡事故発生件数	0件 (H30)	0件 (毎年)
「ながさきファミリープログラム」を地域で実施する市町の数	19市町 (H30)	21市町 (R5)

3 仕事と生活が調和する社会の実現

仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

仕事と子育ての両立のための基盤整備

結婚、妊娠・出産、子育ての希望が叶う社会の実現

結婚・出産・子育てと仕事が二者択一となり、結婚や出産をためらう人が増えていることを背景に、少子化や子育ての課題に関し、働き方の見直しが注目されています。また、仕事優先になり、保護者が十分子どもと向き合えないことで、子どもの育ちへの影響が懸念されています。

仕事と生活の調和のための意識啓発や、企業における取組の推進、結婚、妊娠・出産、子育てに対する切れ目ない支援を実施します。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業の割合	75.3% (H30)	86% (R6)
放課後児童クラブ待機児童数	53人 (H30)	0人 (毎年)
結婚支援事業による成婚数	65組 (H30)	150組 (毎年)

4 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

いじめ・不登校、児童虐待防止対策等の推進

障害児施策の充実

ひとり親家庭等の自立支援の推進

子どもの貧困対策

社会的な問題ともなっている児童虐待やいじめ・不登校、障害のある子ども、ひとり親家庭、貧困の状況にある子どもなどに対し、それぞれの状況に応じて、専門機関や地域における支援体制を充実させ、きめ細かな支援を実施します。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
スクールカウンセラーの配置校数	280校 (H30)	300校 (R5)
公立の幼・小・中・高等学校における個別の教育支援計画作成率	93.6% (R1)	95%以上 (R6)
ひとり親家庭の父母の就職者数(累計) 下段<>内は県事業分の単年度実績及び目標人数	3,213人 (H26~H30) <123人> (H30)	3,300人 (R2~R6) <100人> (毎年)

5 安全・安心な子育ての環境づくり

子どもを取り巻く有害環境対策の推進

子ども等の安全の確保

子育てを支援する生活環境の整備

近年、子どもの周りには、インターネット等を通じ、危険な情報があふれています。また、住宅や道路、公園などの生活環境や、交通事故や犯罪など、子どもが育つ上で注意を払うべき課題もあります。

子どもの健やかな育ちを支えるため、有害環境を浄化し、生活環境整備や交通安全、防犯など、安全・安心な環境づくりを進めます。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
携帯電話所持の児童・生徒のフィルタリング利用率	63% (R1)	75% < 80% > (R5 < R7 >)
通学路の歩道等の整備延長	0.0 km (R2)	10.0 km (R6)

6 県民総ぐるみの子育て支援

社会全体で子育てを応援する機運の醸成

ココロねっこ運動の推進

家庭の日の普及

社会の宝である子どもは、家庭だけでなく、地域全体ではぐくんでいかなければなりません。「誰かが、」ではなく、「自分が、」子どもと子育て家庭を支えるという取組が必要です。

「ココロねっこ運動」の取組や「家庭の日」の取組を推進し、県民総ぐるみの子育て支援の実現を目指していきます。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
ココロねっこ運動登録団体数(累計)	5,953 団体 (H30)	6,460 団体 (R6)
家庭の日ワークショップの参加者数	368 人 (R1)	400 人 (R6)

7 子どもの心と命を守るための取組

関係機関の連携強化

特別な配慮が必要な子どもへの支援

平成26年7月、佐世保市内の県立高等学校1年の女子生徒が同級生の女子生徒に殺害されるという大変痛ましい事件が発生しました。

このような悲劇が繰り返されないよう、再発防止のための取組が重要であることから、関係機関の連携強化、特別な配慮が必要な子どもへの支援等を実施します。

【主な指標】

目標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)
児童虐待防止対策を担う市町職員の資質向上のための研修受講者数	26人 (H30)	26人以上 (毎年)
5歳児健診実施市町数	16市町 (H30)	21市町 (R4)